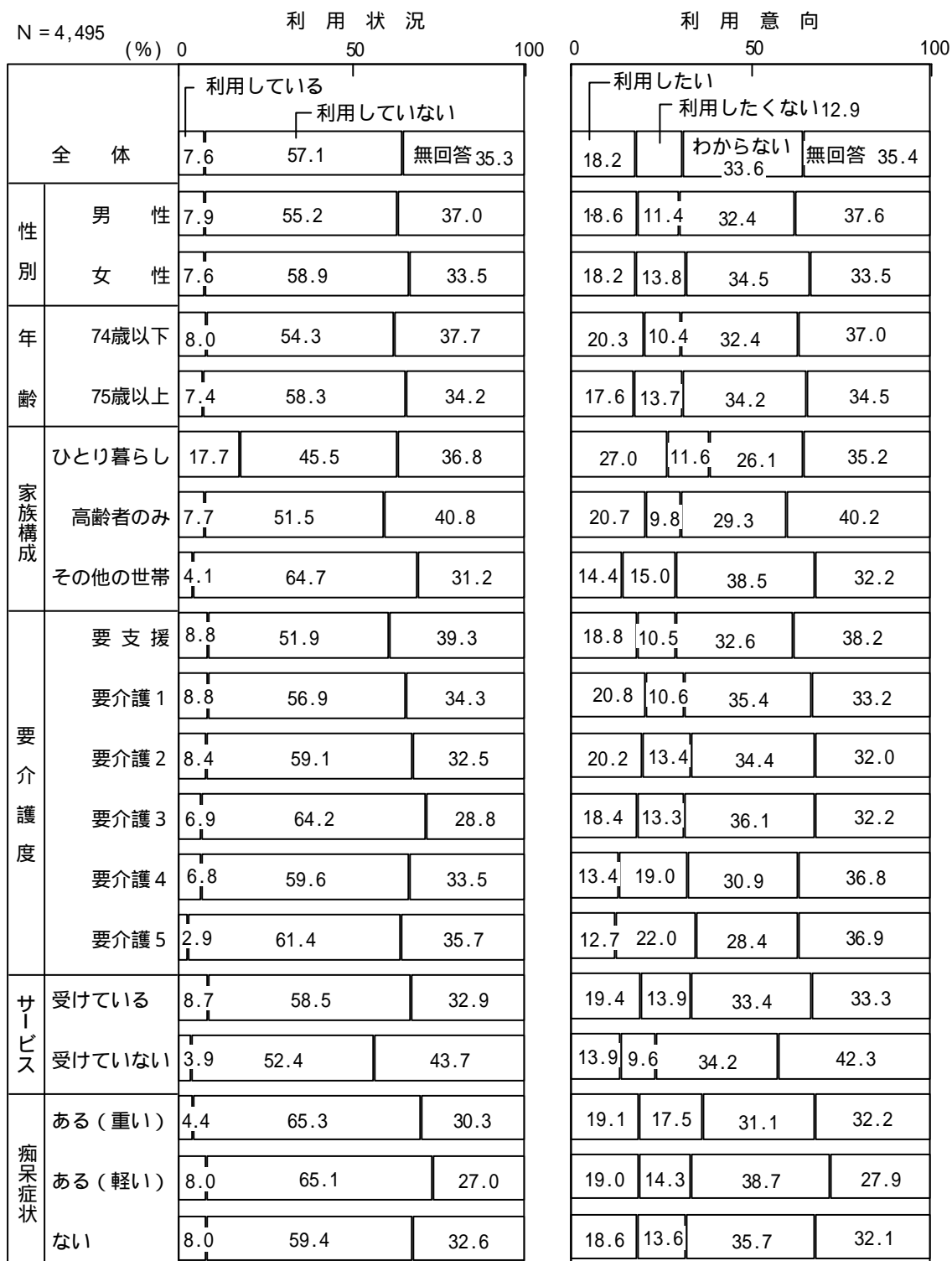


14 介護保険以外のサービスの利用状況と利用意向

(1) 配食サービス

配食サービスを「利用している」は7.6%ですが、「利用したい」は2倍以上の18.2%になっています。利用意向が高いのは、年齢別では74歳以下、家族構成別ではひとり暮らし、要介護度別では要介護1、サービス別では受けているです。

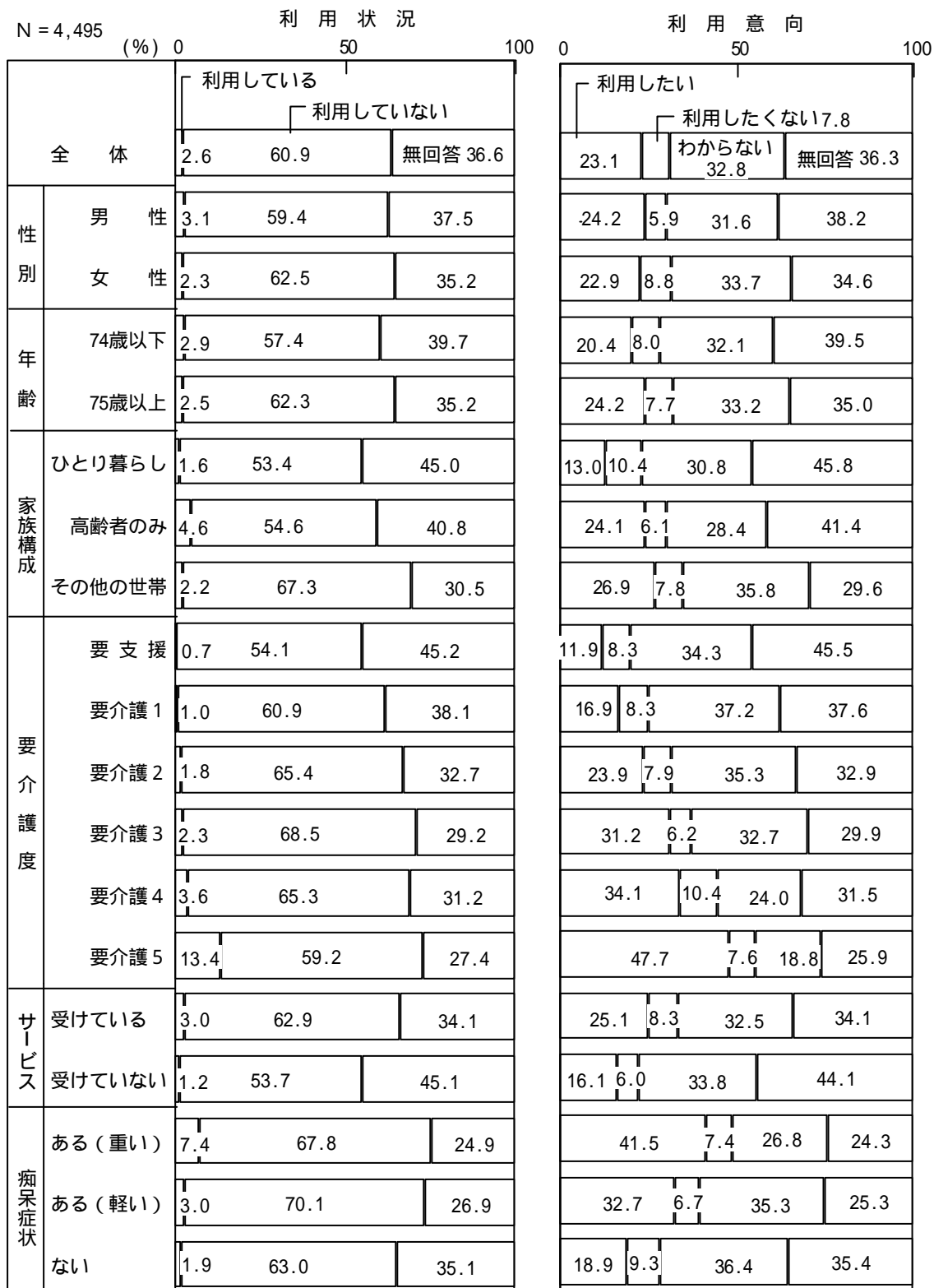
図3 - 47 配食サービスの利用状況と利用意向



(2) 家族介護用品（おむつ）の支給

家族介護用品（おむつ）支給事業を「利用している」は2.6%、「利用したい」は23.1%となっています。「利用したい」は、家族構成別ではその他の世帯、要介護度別では要介護5、痴呆症状別ではある（重い）などが高い率です。

図3 - 48 家族介護用品（おむつ）支給事業の利用状況と利用意向



(3) 住宅改善費促進助成事業

住宅改善費促進助成事業は、「利用している」が8.8%、「利用したい」が23.8%です。これを要介護度別にみると、「利用している」「利用したい」とも要介護2をピークとしています。

欄外に「手すりとかがほしいのですが、アパートはどうなるのですか」と記入した人がいました。

図3 - 49 住宅改善費促進助成事業の利用状況と利用意向



(4) 緊急通報電話機の設置

緊急通報電話機を「利用している」は6.5%、「利用したい」は3倍以上の22.5%となっています。「利用している」「利用したい」は、家族構成別ではひとり暮らし、痴呆症状別ではないが高くなっています。

欄外に「本人は発声ができないし、日中はほとんどひとり暮らしです。緊急電話機のほかに、何かいい方法はありませんでしょうか」と記入した人がいます。

図3 - 50 緊急通報電話機の利用状況と利用意向



(5) 家族介護教室

家族介護教室は、「利用している」が1.3%と非常に低く、「利用したい」も11.7%にとどまっています。要介護3および痴呆症状の重い人の利用意向が高くなっています。

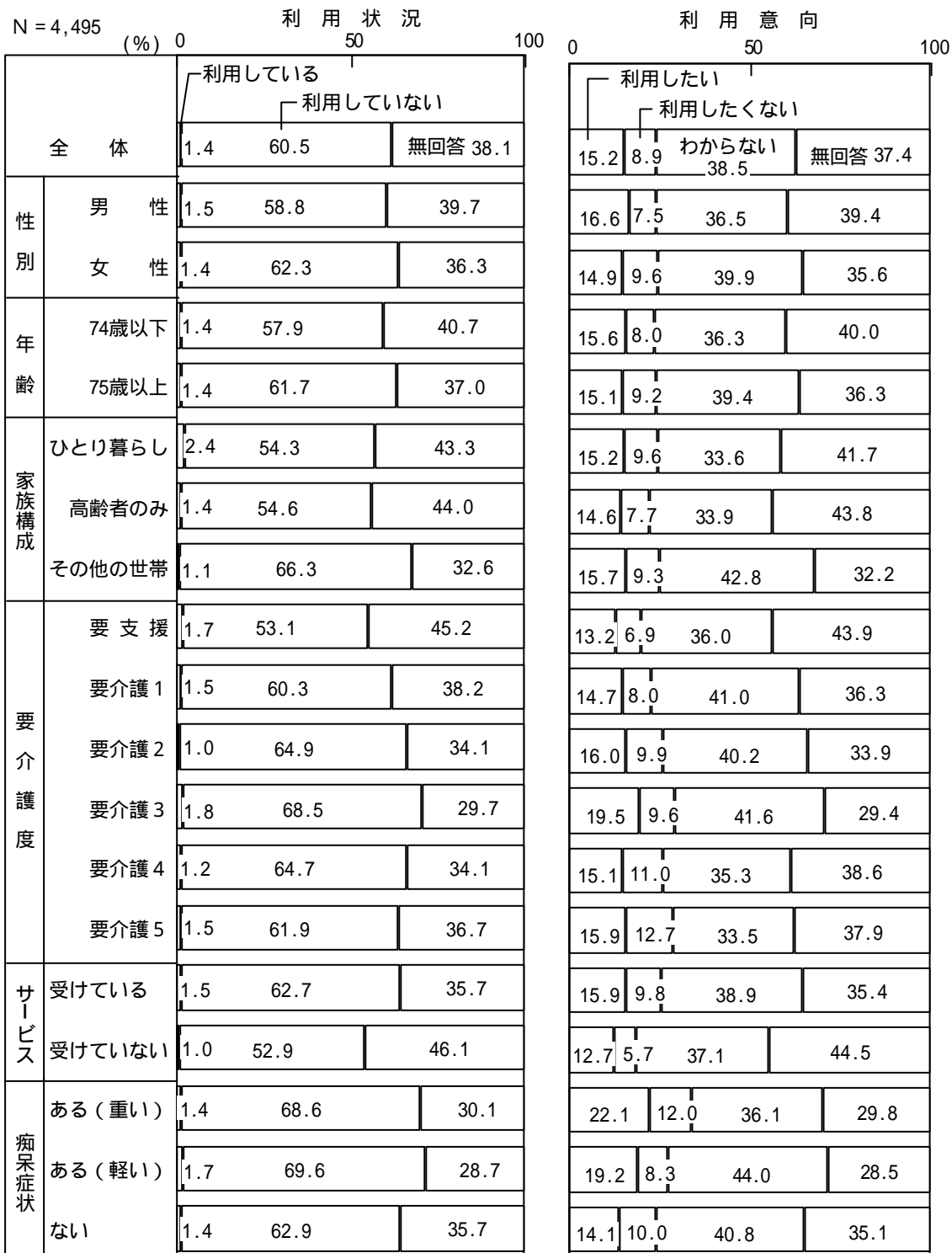
図3 - 51 家族介護教室の利用状況と利用意向



(6) 訪問指導

市の保健婦等が行う訪問指導は、「利用している」が1.4%、「利用したい」が15.2%と低い率です。「利用している」が低いのは、介護保険制度により、訪問指導に変わるサービスとして、訪問看護、訪問リハビリおよび居宅療養管理指導が導入されたため、要介護認定者は実質的には訪問指導が必要なくなったためと考えます。

図3 - 52 訪問指導の利用状況と利用意向

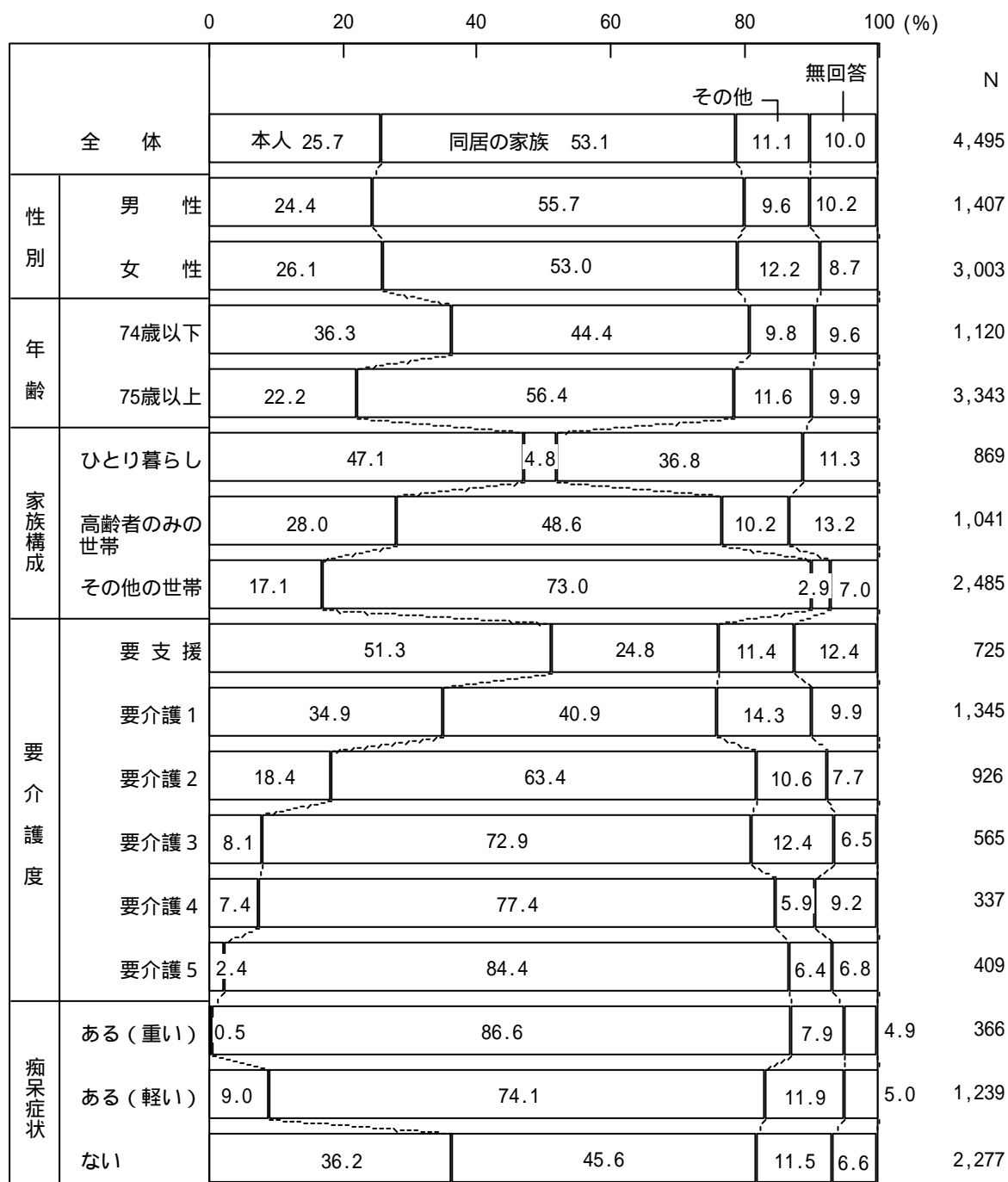


15 調査票の記入者

「ここまでの設問に記入した人はどなたですか」という設問に対しては、「同居の家族」が53.1%を占め、「本人」は25.7%にすぎません。年齢別では75歳以上、要介護度別では重度ほど、痴呆症状別ではある（重い）が、「同居の家族」が高く、「本人」が低くなっています。

欄外に「ヘルパー」と記入した人が3人いました。

図3 - 53 調査票の記入者

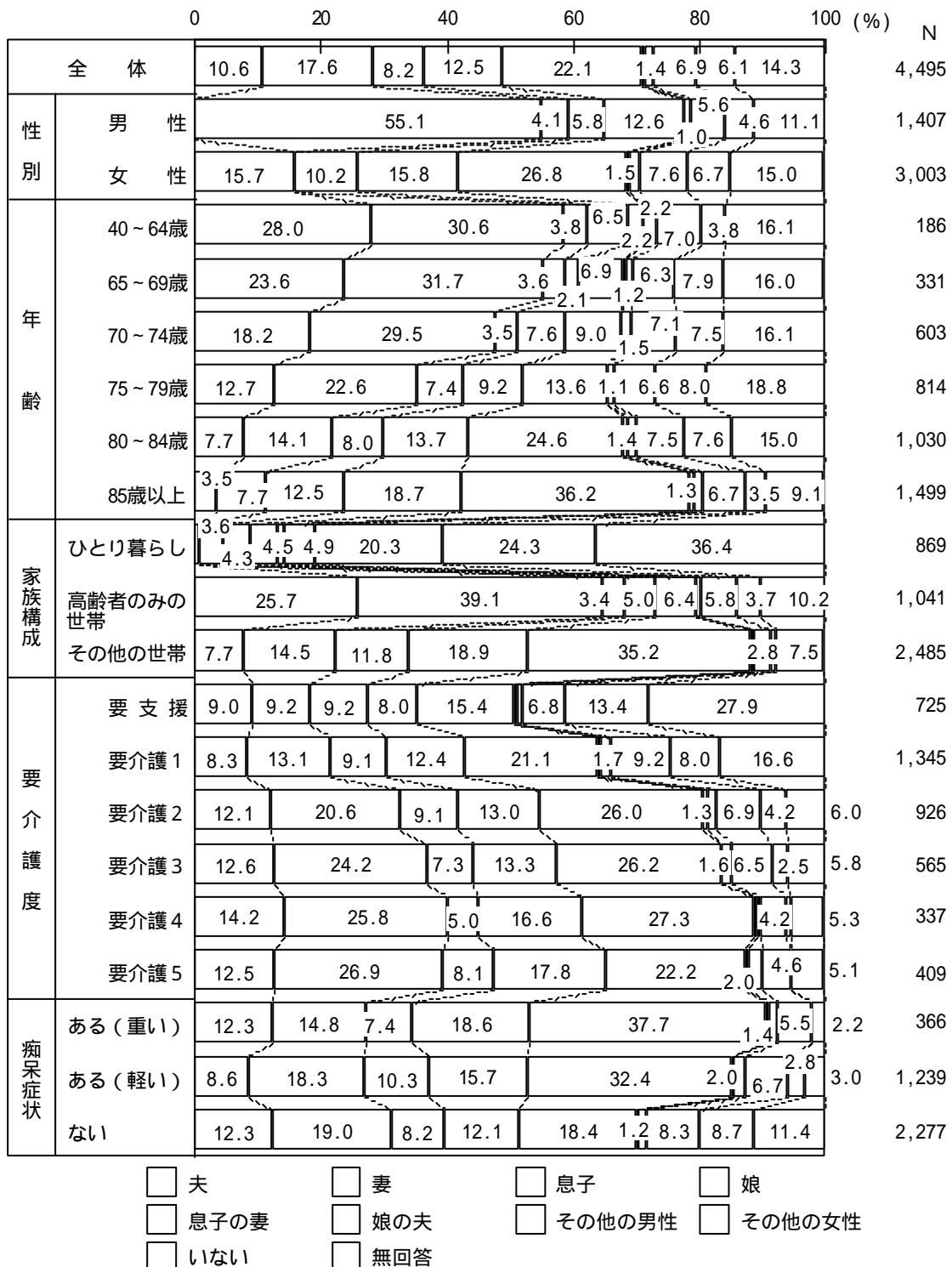


16 介護者の状況

(1) 主な介護者

主な介護者としては、「息子の妻」(22.1%)、「妻」(17.6%)、「娘」(12.5%)、「夫」(10.6%)などとなっています。主な介護者を性別でみると、男性が20.6%、女性が59.1%、「いない」が6.1%、無回答が14.3%となり、やはり介護者は女性が多いという結果になっています。

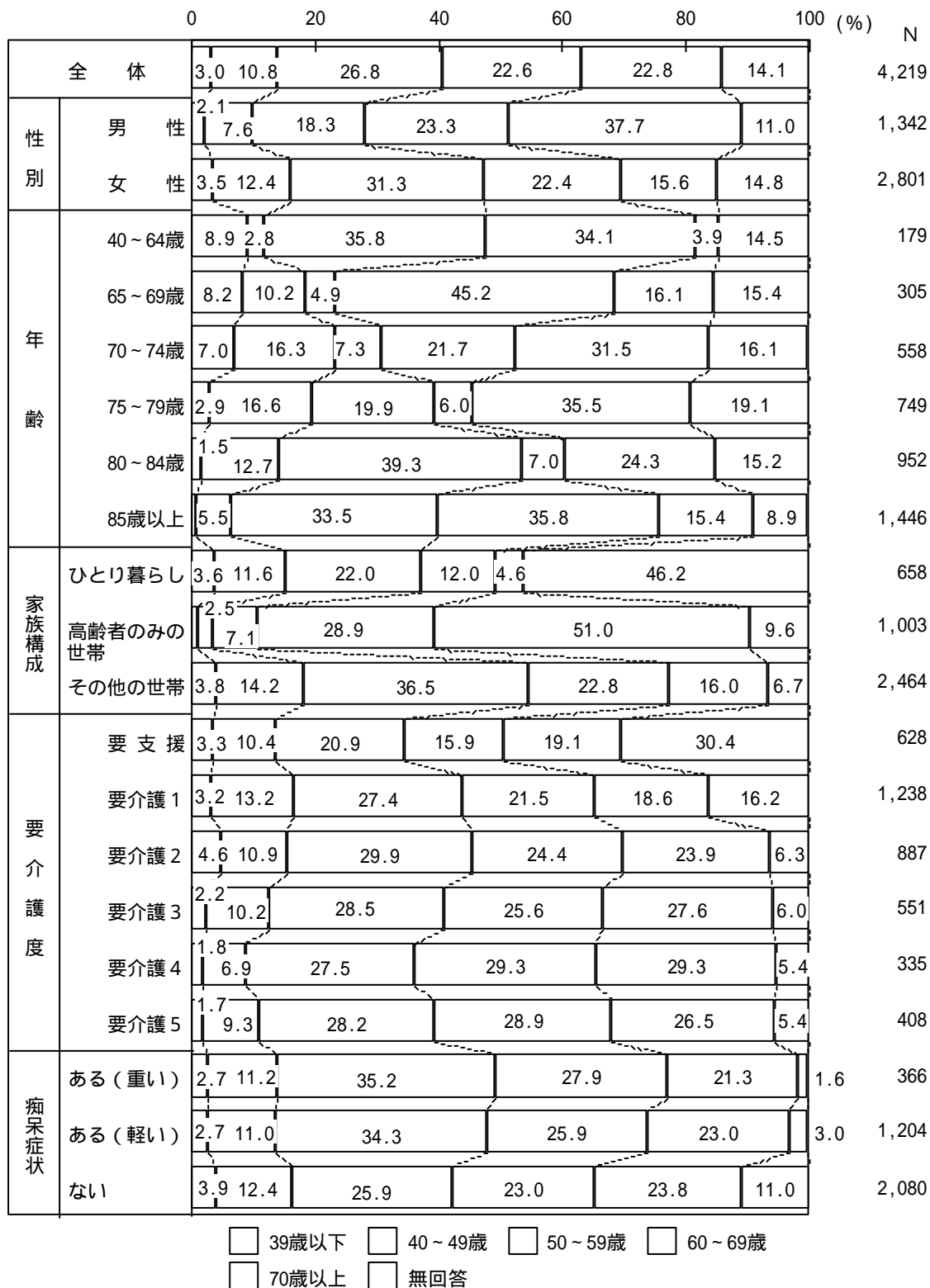
図3-54 主な介護者



(2) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢は、「50～59歳」(26.8%)、「70歳以上」(22.8%)、「60～69歳」(22.6%)の順になっています。「70歳以上」と答えた960人で、70歳以上の人を介護している人が896人、要介護の人を介護している人が800人います。

図3 - 55 主な介護者の年齢



(3) 主な介護者の健康状態

主な介護者の健康状態は、「おおむね健康」が48.5%、「病気ではないが体調がすぐれない」が27.0%、「病弱」が9.3%となっています。「病弱」と答えた391人で要介護の人を介護している人が333人います。

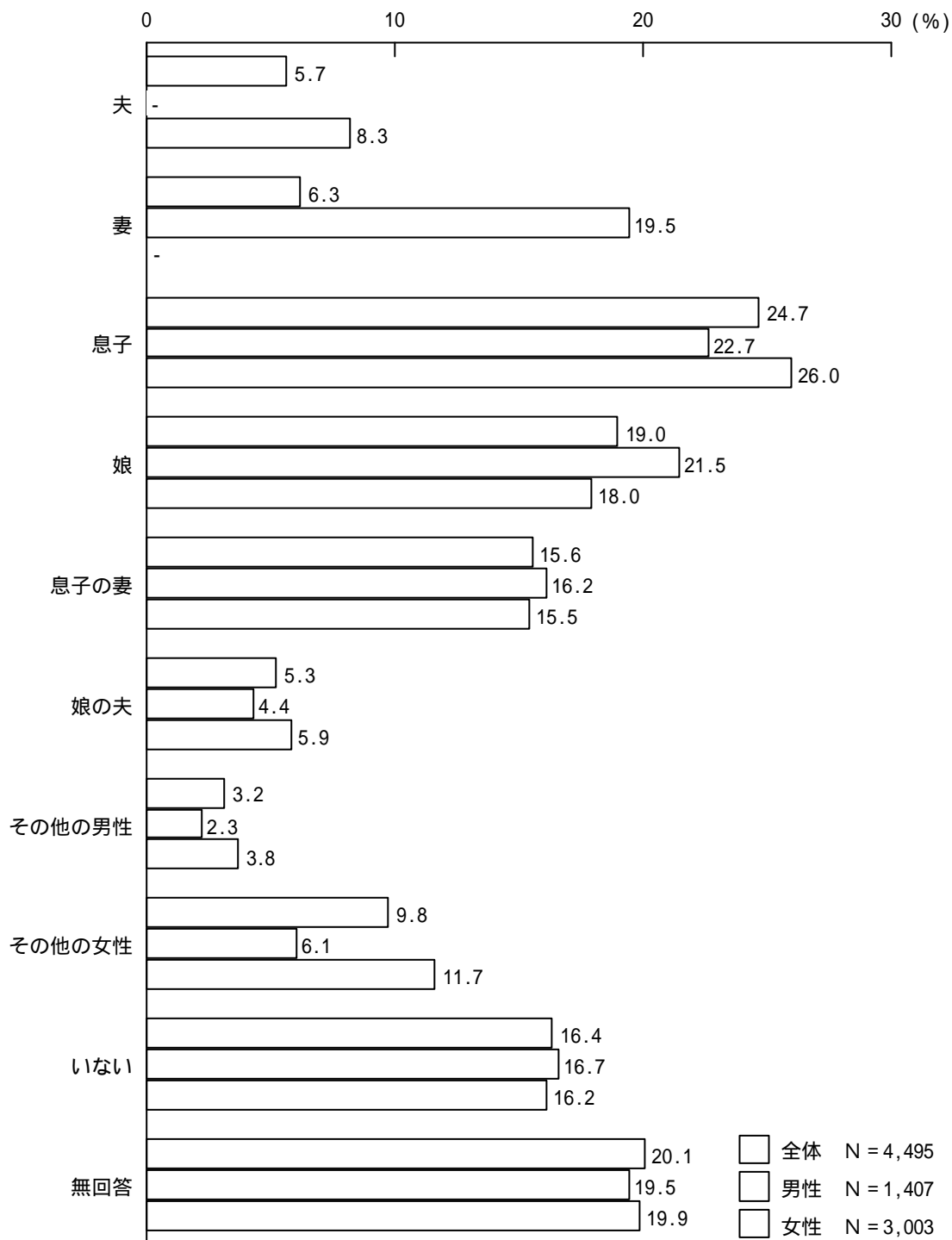
図3 - 56 主な介護者の健康状態

| | | 0 20 40 60 80 100 (%) | | | | N |
|---------|----------|-----------------------|------|------|------|-------|
| | | 病気ではないが体調がすぐれない | | 病弱 | | 無回答 |
| 全 体 | | おおむね健康 48.5 | 27.0 | 9.3 | 15.2 | 4,219 |
| 性 別 | 男 性 | 42.9 | 33.7 | 11.3 | 12.1 | 1,342 |
| | 女 性 | 51.6 | 24.0 | 8.4 | 16.0 | 2,801 |
| 年 齢 | 40～64歳 | 50.8 | 24.0 | 9.5 | 15.6 | 179 |
| | 65～69歳 | 47.2 | 25.9 | 10.2 | 16.7 | 305 |
| | 70～74歳 | 45.2 | 26.9 | 11.6 | 16.3 | 558 |
| | 75～79歳 | 44.5 | 24.6 | 10.1 | 20.8 | 749 |
| | 80～84歳 | 48.6 | 26.8 | 8.2 | 16.4 | 952 |
| | 85歳以上 | 51.9 | 29.5 | 8.4 | 10.2 | 1,446 |
| 家 族 構 成 | ひとり暮らし | 36.9 | 11.7 | 3.6 | 47.7 | 658 |
| | 高齢者のみの世帯 | 38.6 | 34.7 | 16.2 | 10.6 | 1,003 |
| | その他の世帯 | 56.3 | 28.2 | 8.0 | 7.6 | 2,464 |
| 要 介 護 度 | 要 支 援 | 44.4 | 17.2 | 7.2 | 31.2 | 628 |
| | 要介護1 | 52.5 | 21.0 | 9.4 | 17.1 | 1,238 |
| | 要介護2 | 51.5 | 30.6 | 10.3 | 7.7 | 887 |
| | 要介護3 | 48.8 | 34.7 | 10.2 | 6.4 | 551 |
| | 要介護4 | 47.2 | 39.1 | 7.5 | 6.3 | 335 |
| | 要介護5 | 45.6 | 36.5 | 11.0 | 6.9 | 408 |
| 痴 呆 症 状 | ある(重い) | 42.9 | 41.8 | 11.7 | 3.6 | 366 |
| | ある(軽い) | 51.6 | 33.7 | 11.0 | 3.7 | 1,204 |
| | ない | 54.7 | 24.2 | 8.9 | 12.2 | 2,080 |

(4) 補助的な介護者

補助的な介護者としては、「息子」(24.7%)、「娘」(19.0%)、「息子の妻」(15.6%)の順になっています。補助的な介護者の性別を単純集計すると、男性が38.9%、女性が50.7%になります。

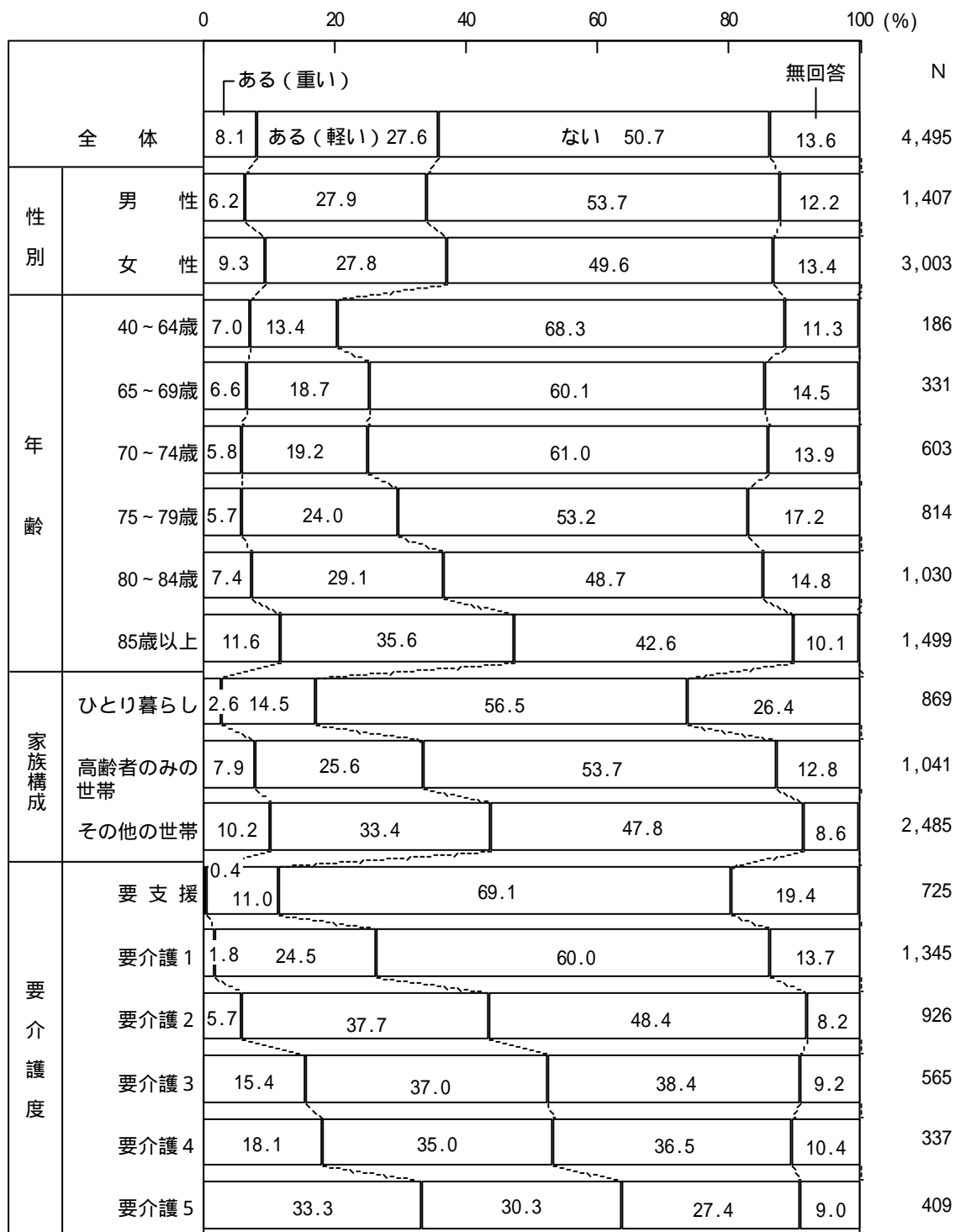
図3 - 57 補助的な介護者（複数回答）



(5) 痴呆症状の有無

「要介護・要支援と認定された方には、痴呆症状がありますか」という設問に対しては、「ある（重い）」が8.1%、「ある（軽い）」が27.6%あり、合わせて35.7%が痴呆症状があることとなります。「ある（重い）」が高いのは、性別では女性、年齢別では85歳以上、要介護度別では重度ほど高くなっています。

図3 - 58 痴呆症状の有無

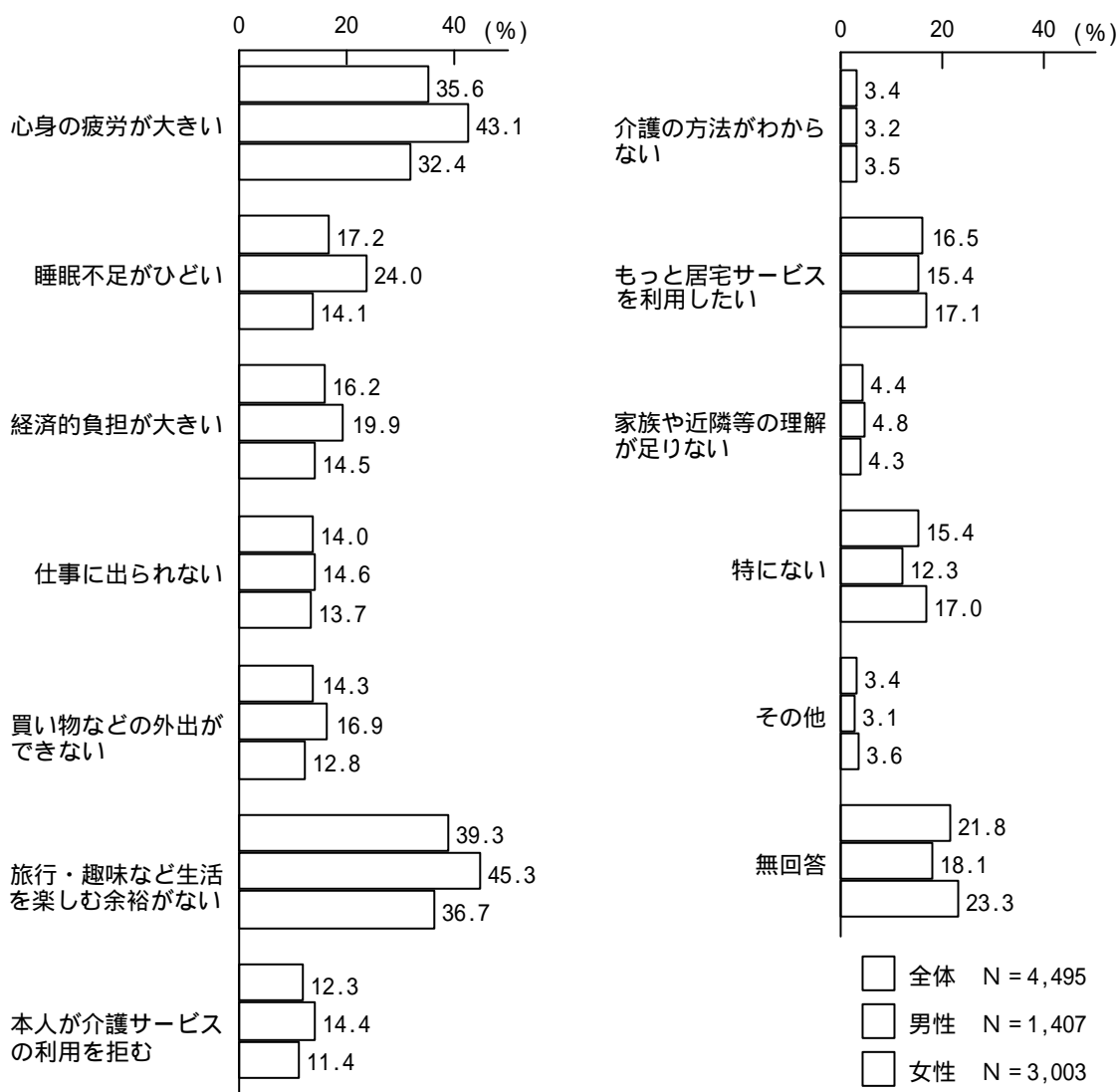


(6) 介護するうえで困っていること

「介護するうえで、どんなことに困っていますか」という設問に対しては、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」(39.3%)、「心身の疲労が大きい」(35.6%)、「睡眠不足がひどい」(17.2%)、「もっと居宅サービスを利用したい」(16.5%)、「経済的負担が大きい」(16.2%) などとなっています。

要介護者の性別にみると、一般的に男性を介護している人の率が高くなっています。

図3 - 59 介護するうえで困っていること(複数回答)



「その他」として以下の記述がありました。

精神的疲労が大きい。ストレスがたまる。(5件)

安心して旅行・外出などができなくなった。(5件)

本人がショートステイ等を拒否する。(4件)

今のところ困っている状況でない。(4件)

腕・腰痛がひどい。(2件)

事を荒立てる。(2件)

一人にすることができなくて常に誰かが一緒にいなくてはならない。(2件)

住んでいるところにバスが通っていないため、タクシー代がかかるので、病院通い以外はめったに出歩けない。(2件)

現在、ショートステイに入っています。

妻の私も老齢で看護が大変です。

1日おきに人工透析に病院へ連れて行かなければならないため、ショートステイに入れたくてもせいぜい透析がない曜日を選んで1泊2日を月に2回程度しかとれないので、私が体を休める日がない。

2か月ほど昼夜24時間、1時間おきにごはん、ごはんと言う。トイレは5分おき。子供たちがくるとわからない。見るもの全部口の中に入れる。私も倒れたこともあり、今はそれがなく落ち着きましたのでいいですが、うそを言うので本当に困ります。私より食べますが、ご飯をくれないとか、人の顔を見ると話します。

主人がいますが、介護にほとんど手を出しません。娘さんも二人みえますが、都合のよいときだけ。

別居していて独居状態。車で30分ほど離れているため、いざという時、間に合うかどうか心配。

リウマチで手足身体全体の痛みがひどくて、病院以外では横になっています。

介護人が共稼ぎのため仕事に影響あり。

もう少しリハビリに体を使って、頭も使うようなことができるといいと思います。

自分の意思で排泄しようとするのだが、大便の始末ができない。おむつにしても自分でしようとする。

主人がいない間は私一人に掛かる肩の荷が重い。私自身、気に病むことが多くなった。ひとり暮らしをさせているので、緊急の時、消防へ連絡がいく装置をつけてもらいたい。本人は身体的な介助等はほとんどなく、昼間は一人で生活しています。同居者が外で働いているため(フルタイム)夜遅くまで一人にさせておくことの不安があります。週1回でも気分が転換できればと、訪問サービスを昼間に依頼していますが、今のところ本人は訪問の回数を多くするまたは通所やショートステイを受けるという気持ちはありません。家族としてはもっと他の人に接したり、不安を減らし、安心して安全に生活できる場を増やしてあげたいと思うのですが、本人の気持ちを尊重すると強引には進められ

ません。週1回のサービスでもありがたく思っています。

毎日デイケアに行ってます。帰ってから次の朝送り出すまでの間神経を使っている。

物忘れが多くなった。

自己中心で私の言うことを全く聞こうとしません。9月末よりデイ・ケアへ行くのもやめていて、食事やトイレ以外は布団の中です。

胃ろうで栄養を摂っているのですが、ショートステイに行くことができない。

6～9月は心身の疲労、睡眠不足がひどい。

今のところ疲労、睡眠不足、外出ができない点で困りますが、ひどくてたまらないという程ではない(4年前から介護生活をしているので慣れたということもある)。

長時間家を空けられない。

本人の訪問介護に対する理解が乏しい。

病院に入れたい。

ご近所の方には正直にお話しておりますので、いざという場合、親切にさせていただいております。

デイ・ケアに行かない日は私(介護者)が疲れる。

買い物には連れて行きます。黙って出掛けることがある。自分の部屋に15分とおれない。

病気がどうなっていくか心配。

介護者の精神的苦勞のケアが望ましいと思います。

1日のうち2～3回程度痴呆症状がある。

同性でないので、あまり話すことがなく困ります。

模擬体験をしてみたい(体に何かをつける)。

痴呆症の義母を在宅で看ようと決め、私の精神的ケアのためにデイに出掛けてもらって、時間の許す限り好きなことをしようと、そして二人で向き合ったときはいい顔で接しようと過ごしていますが、第三者的には行動している私のみがイヤミや非難めいたことを言われます。すごくつらいですね。

痰の吸引を毎晩2回は行っている。本人一人では夜間生活させられなく、泊り込む仕事ができなくなった。

短期入所で酸素使用できる施設がほしい。

老人は内に閉じこもりがちなので、そういう状態を見るとこちらまで暗くなってしまうことがある。

デイサービスを受けることにより精神的に楽になった。

痴呆が軽いときと重いときがあり、あまり外へ出したくない。人に会って元気に話したりしていると、家の中とかデイだけでは気の毒に思うが、仕方がないとあきらめている。睡眠薬を飲んでいる。妻の病気とは関係なくうつ病で5度くらい精神病院に入院した。ショートステイ利用時のオムツ使用枚数が多すぎる。

すぐ忘れるため、同じことを何度も言わなければならず、冷静に対応できなくなるので困る。

家族の理解はあると思うけど、自分自身疲労が多いとどこまで現実がわかってもらえるだろうかと思う。

性格のことで困っています。

家族や近隣の方などの理解はあります。

親族と夫は自分たちさえよければ妻はどうでもよいという思いが時々あります。夫より

「おまえのことなんか知るか！」義姉より「まだ悪いの・・・」

親戚の理解がもっとあったらと思う。

今では自分で外出、買い物、掃除をやる。

嫁いだ娘たちの、介護している嫁への配慮がない！

ヘルパーが介護している。

電話に出ることができないので、外からの連絡が取れないのが一番困る。

介護サービスを全く受けていないため(本当は受けたいが)、一日の生活サイクルが狂い、切り替えができません。

近隣の方々にお助けをして頂いてありがたいです。普段から人のお付き合いを大切にしていきたいと思っています。

今年長男が死亡し、家より出られません。

家で一人にさせることが多いので、何か突然あったら困るといつも思っている。

息子の妻がいても仕事に行ってしまうと頼むわけにもいきません。日曜日でも仕事へ行くといって出て行ってしまいます。頼りにするわけにはいかないと思いませんか。

ショートステイを利用したいが、知らない所へは行きたくない。

介護ができなくなったときお願いします。

今はいいが、後、心配だ。

心身の疲労が大きいわけではないが、疲労は続いている。

同じ階の人に頼んだタクシーが来なくて夜だった。先日急に私が腹痛で困った。

部屋の中で転ぶたびに傷をするので困っている。

家事もやらなければならない。

嫁だから介護するのは当たり前という考え方

いつも一緒に出かけて買い物をしている。

日中とわず、外出したり、電動自動車ではぐれてしまったりして、警察に迷惑をかけている。

今はないがこれからがわからない。

一日の生活のリズムが狂いがちのため、本当は支援を受けたいのですが受けられません。

ヘルパーさんは同じ人がいい。

ショートステイを利用しています。歩けるけれど足運びが悪いので、ベッドから落ちたりトイレで倒れたとかでお尻に大きなあざを作って帰ってきました。介護員も忙しく目が届かないのかこんな事があると安心してショートに出せない気がします。

直腸手術後、悪くなりその後3回手術をして後遺症が残っている。現在、病院より要介護で往診してもらっております。

現在、トイレが住居外にあるため不便。

補助的介護（短日）でも病弱なため、疲労が大きい。

自分の体調が悪いときに代わりがない。

家にいるときはストレスで大変でしたが、今は老健に入所してるので精神的に楽になりました。

勤務のため日中留守

デイサービスに週1回行っていますが、本人があまり行きたがりません。

嫁の立場として、すべてやりにくい。介護される側とする側の心の通いが本当の親子というわけにはいかない。

火を使うので目を離せない。

デイサービスの会合などがあるときは、家族が行くのだが、足が悪いため良い話などがあっても行ったりするのがつらい。

介護関係従業者のレベルが低い。

自分で介護していますが、また頼みたいときはお願いします。

一定の時間に食事の用意、オムツの取替えなどがあり余裕の時間がない。

家が大きくないため、一日中顔をつき合わせるので、気が休まることがない。

各家庭で介護することだと思います。

私（長男の妻）を何時も探しているので、精神的に疲れる。

近隣の口がうるさい。

仕事にならない。

メンタルケアのできるヘルパーさんが少ないようでヘルパーを変えられると、母の人柄からこれまでのいきさつやメンタルケアの方法などを伝えるのに大変な思いをする。ケアマネジャーに話しても事業所組織の事情を言われるため、半ばあきらめています。

遠距離介護をしているので、心身・経済的な負担が大きい。

今のところはあまり困っていません。入浴時の用具を購入できましたので安心です。

私が身障者のため、父がこれ以上身体が悪くなったときの不安がある。

現在85歳の父と2人で母を介護しています。この先の父のことも心配。私だけで父と母を介護することになったらという不安があります。

毎日睡眠が何度も中断される。

デイサービスの日にしか外出できない。

本人の長男の理解が足りない。

子どものないひとり暮らしに手を貸してほしい。ひとり暮らしでも子どもさんのある人はどれだけ助かっていることでしょうか。

特にこれだと言うことはないが、良いときと悪いときがあるので、サービス等は利用したい。

足の健康のため散歩させたく、一人で外出するのは良いけれど、帰り道が時々わからなくなってしまう。

デイサービスの時間延長制

精神的な問題等で、夜中に起こされることが多々ある。

お金を盗むと言われるほど情けないことはない。自分が被害者ぶる。

夫はサラリーマンではないから金銭的な面でもきついし、自分も外に出て少しはパート代で生活したいと思うが、本人は一人では何もやらないから、言い方は悪いけど生きている間は仕事に行けない。毎日のことだけど一体どうしたらいいかわからない。

どうしてもというときだけショートステイを利用している。要介護度は低いですが、拘束されるのでイライラすることがある。

国民年金から介護保険料を支払い、生活するのが大変。要介護5になったらどうしたらよいのでしょうか。

介護する者を助けてほしい。気が変になりそう。つらい。

本人は嫁が介護するのが当然と思っており、外部の介護サービスを頑として拒否する。

入所を希望しているが、なかなか順番が回ってこない。

緊急時のショートステイが不可能みたいに聞いているので心配である（高齢の親が遠隔地にいるため）。

約3kmの毎日の散歩が楽しい。

最近はやっと理解が得られるようになったが、まだまだ現実をわかっていない。いつもそばにいないから。そんなに手が掛かっていないと思っている。

仕事をしているので、十分な介護ができない。

着替えを嫌がり、放っておくと何日も着替えをしないのに困っています。

排便、徘徊

介護者の具合が悪くなったとき、要介護者が一人になるので心配。

ショートステイを利用してほしいが、本人が食事がまずいから二度と行きたくないと言うので困っている。

家族に要介護3が2人もおりますので、精神的にとっても疲れます。

力がなくなったので、入浴させてやれない。

病院への送り迎え、付き添い。自分中心の考え、話しのちぐはぐ。毎日、同じことを繰り返す。疲れます。

介護しているのが長男の嫁ですが、病院に連れて行くことから、すべてやらなければならず、一人に負担がかかりすぎる。

介護人も年老いているため、介護人が急病などで倒れた場合、すぐに受け入れてくれる所を希望したいです。

将来が心配。

介護している者の方が精神不安に陥り、日ごとにパニック状態になることが多くなり、不安です。

年金がないこと。

耳・目が不自由です。

乳児がいるので、イライラすると子どもにあたってしまう。

今のところ、本人はどうかひとり暮らしができそうで、なんとか頑張っているが、今後が不安である。

排せつの回数頻繁、食事が手間取る、目が離せない。

痴呆で、外出してケガをし救急車利用が何度もある。そのわりにはしっかりしてみえたりする。お酒にも困っている。

限度枠内で24時間専用ヘルパーを望む。

ぜんそくがあり、このごろはお世話するのが大変です。

今のところ、痴呆がないので助かっております。

買い物。近所の人に同行してもらおう。

買い物、外出はデイサービスの日しかできない。

本人が薬の管理ができないので困ります。その都度、一服ずつ手渡しています。

食事が片寄りがちになる。好き嫌が多い。

言葉が心からの言葉とは思えない。協力、共同、調和等は、自己主義を通して。こちらはつらい。

長い間家を留守にすることができない。誰かが家にいなければいけない。

デイサービスを受けて帰ったあと、本人が家に居る間は外に出るなど言い、介護する方の自由もままならない。泥棒に始まり、妄想で男がいるといい、夜中でも探して歩く。その思いをどうかわして、あるいは受け止めて良いかわからない。

親戚がストレスになりやすい。

訪問看護サービスが、土、日、祭日が休みになるので、せめて祭日だけでもサービスを受けたい。

扶養家族のため、住宅改修が限度外になる。

本人が介護について理解度がない。

家政婦さんとヘルパーさんに助けていただいております。

ホームヘルパーを嫌がる。いやなことを言って怒らせてしまったことがあり、それ以来頼んでいない。

通院時の付き添いが大変。

本人のわがままで自己中心的な性格に困っている。

心身の疲労がひどい。

長寿万歳ではないことを痛感しています。

精神症状がひどいので、言動に振りまわされる。

外国にいる娘の所に行こうと思っても、自分の娘さんの所に行かないので困っています。

住宅整備など、本人の納得の上で行ったことを「約束した覚えがない」と言い張ること。

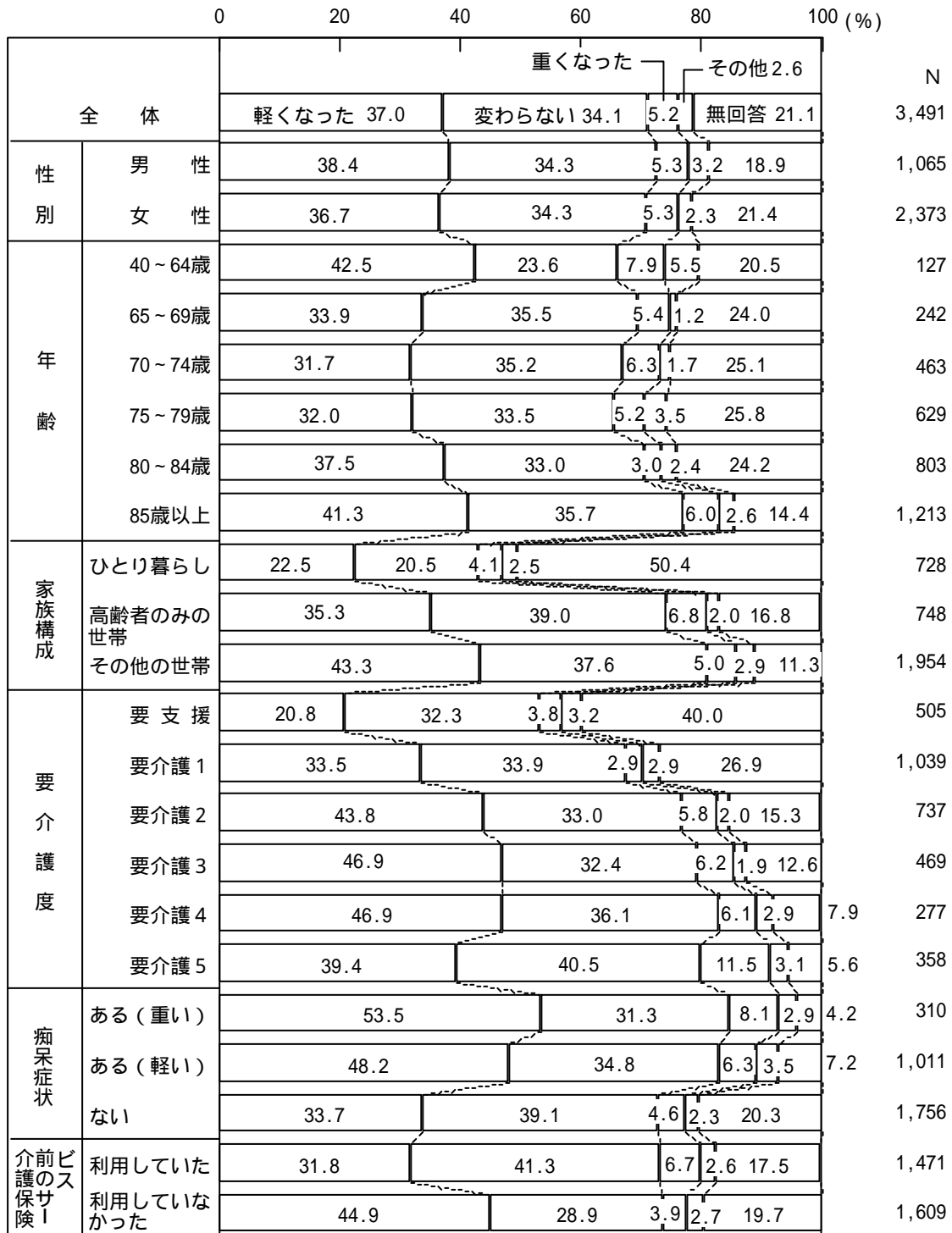
デイサービスをもっと受けたいが、本人が拒む。

嫁入り先と生家、2か所の介護かけもちで、時間的な余裕がない。

(7) 介護負担

「介護保険サービスを受けて、肉体的・精神的な介護負担はどう変わりましたか」という設問に対しては、「軽くなった」(37.0%)が「重くなった」(5.2%)を大きく上回っています。特に、介護保険制度の施行前に介護サービスを利用していなかった人は、「軽くなった」が44.9%、「重くなった」が3.9%と、「軽くなった」率が非常に高くなっています。

図3-60 介護負担の変化



「その他」等として、以下の記述がありました。

介護保険サービスは受けていない。(7件)

デイサービスに行かれる日は自由がある。(4件)

わかりません。(4件)

家では入浴をしてやれないので助かります。(3件)

デイサービスの利用時、出掛ける時間までの準備(排泄、服装、持ち物)が非常に負担です。(3件)

精神的に楽になった。(2件)

介護の負担が軽くなったが、精神的負担が重い。(2件)

金銭面での負担が重くなった。(2件)

心身の負担が多少軽くなった。(2件)

最近同居したのでまだよくわからない。

週に2回だけなのであまり変わらない。

少ない年金から引かれるのがつらいが、週1回来てもらうので、やはり負担は仕方がない。

いざというときに頼れるところがある、という安心感につながっています。

介護保険制度スタート前より、デイサービス、ショートステイなどを受けていたので、あまり変わらない。

デイ・ケアに行きたくて欲しいのですが、行ってくれなくて、部屋(父の)掃除もなかなかやれません。

利用限度が減るから、今後は負担が増える。

デイサービスに出る時、毎日嫌がりましたが、最近少し慣れてきました。喜んで行ってくれる日を楽しみに。

病院の支払いが重くなった。

話題が増えたとし、本人が楽しみにしている。

他人(ヘルパー)が家に入るのだから結構しんどいし、介護者もそれなりに管理される。

老人のため年々手が掛かるようになり、心身の疲れが大きい。

便所改装により、冬季に助かっている。

他人が入り気をつかう。金銭的な負担。

デイサービスから帰ってくると大変。

いつでも短期入所サービスが受けられるよう、部屋を確保してほしい。

現在3名で交代に介護しているので、勝手がわからないことがあり、少し疲れる。

独居であるため、自ら予定を立てて考えている。人を使うということは、肉体的な負担は軽くなっても、精神的負担は重くなる。

昼間の自由な時間ができる反面、毎日着替えて送り出す、3時には家に帰って迎え入れ、着替えさせるという時間に疲れます。

退院直後からサービスを受けているのでわからない。

ありがたいです。

看護婦さんの訪問が重く感じます。

デイサービス利用当時慣れないために疲労が大きかったようで、リズムが狂った。

旅行の時など年2回くらいショートステイを利用しています。本人、本人の娘たちに気兼ねしながら頂けている。

体が悪いほか、眼病で目が見えないので困っております。

本人が施設へ入居されるよう希望。

ケアハウスにいたときの生活と変化がない。少し楽になった。

デイサービスに行くので、少し気持ちが楽になった。

介護の負担が少し軽くなったし、よくやったださるので精神的に良い。

家庭内にヘルパーさんに入ってもらうのが最初は難しかった。

負担金が大きく、精神的にも負担が大きい。

開放感を得られる。

安心して買い物などに出かけられる。

大変悔しかった。

10月にデイサービスを受けていたときは楽だった。

ショートステイを利用してほしいが、本人が拒否する。

負担が重いときと軽いときがある。

買い物をしてもらえるのがありがたい。

経済的負担が大きく在宅にせざるを得ない。

介護保険と前後して始めたため比較できない。

将来の安心感が得られる。

今までは本人がその日暮らしてでしたが、デイ・ケアを受けるようになってからは、少し行かなければと、規則正しい生活をするようになったと思います。

少々リフレッシュできるようになれた。

サービスの人に気を遣わねばならないので大変。

ヘルパーさんとのコミュニケーションの心理的負担が大きい。

施設には満足していますが、本人が年を重ねるたびに痴呆が進んでいるので、負担は重くなっている。

人が変わるたびにヘルパーに気を遣う。

ショートステイなどに行っている時だけは気が休まる。

週に1度なので、2～3回になると良い。

今は、本人がしっかりしているので負担はあまり感じない。

本人に失語症、言語障害があるので人前に出たがらない。

以前は3～6か月くらいの入所を組み込んでいた。今は84日しかないので、とっておかないといけない。

他人がしょっちゅう家へ来るのは負担になる。

週1回土曜だけなので、変わらない。